

広報

いみず野



小学生の

田植え体験学習



Instagramも
チェック!



LINEで
友だち登録!

編集発行

いみず野農業協同組合 総務課
富山県射水市北野1555-1
TEL.0766-52-0023/FAX.0766-52-5955

JAいみず野ホームページ
<https://www.ja-imizuno.or.jp/>

JAいみず野 検索



2025
7
July
Vol.295

小学生の 田植え 体験学習

今年も射水市内の小学校で、子供たちによる学校田の田植え体験、バケツ稲づくりが行われました。

これは、食農教育の一環として、毎日口しているお米がどのように作られているかを体験してもらうことで、農業の大変さや楽しさなどを感じてもらうことを目的としています。

ほとんどの子供たちが田植えするのは初めてということで、田んぼに恐る恐る足を入れていましたが、次第に泥の感触を楽しめるようになり、いきいきとした笑顔で田植えを体験しました。自然に囲まれた環境の中で、泥だらけになりながら元気いっぱい楽しむ姿がとても印象的でした。

秋には、子供たちによる稲刈りが行われる予定です。自分たちで植えた苗の成長に喜びの声を響かせ、元気に稲刈りをしている姿が目に見えます。

5/13 塚原小学校



泥んこは一生懸命の証!



5/13 片山学園 初等科



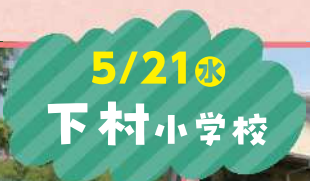
力をあわせて
いちに!いちに!



みんな真剣!



5/14 大門小学校



バケツ稲



第25回 通常総代会開催

10 議案を原案通り承認



▲塚本 清代表理事組合長

いみず野農業協同組合の第25回通常総代会が、令和7年5月24日(土)午後2時より射水市小杉文化ホールラポールにおいて、本人出席の総代322名、書面議決による出席126名の合計448名の出席により開会された。

開会に際し、塚本代表理事組合長が来賓と総代各位に多忙の中の出席に礼を述べ、来賓各位に地域農業発展のため、更なる尽力を賜りたいと願った。

米価を巡る情勢について、米価の高騰は生産者である我々からすれば大変ありがたいことであるが、消費者の米離れを招いてはならない。米価は生産費を基準として設定されるものであり、今後も責任を以って生産者、消費者双方の為に適正な価格形成に

取り組むとした。

令和6年度決算については経常利益が7,900万円余りとなり過去最低となったが、これは農林中央金庫からの配当が得られなかったこと、施設利用料の据え置きや肥料農薬の価格を限界まで抑えたことなどが要因となったと述べた。また、カントリーエレベータや低温倉庫などの施設の老朽化に伴う修繕費が高み、さらに電気料等の光熱費も上昇したため、令和7年度の施設利用料を改定したことについて各位に理解を求めた。

農業については「ZIGIS」ゼットジーアイエス(圃場地図データ)を活用した「xarvio」ザルビオ(栽培管理支援システムアプリ)の普及を加速させ、省力化を推進し担い手不足の解消を図るとし、もみ殻燃焼灰肥料シリカエールプラスを施肥した高付加価値米の生産を進め販路の拡大に努めると述べ、組合員各位の理解と協力を求めるとともに議案の慎重審議を願う挨拶とした。

通常総代会 付議議案

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 第1号議案 | 第25年度 事業報告及び剰余金処分案承認の件 |
| 報告事項1 | 第25年度 貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の件 |
| 報告事項2 | 第25年度 部門別損益計算書の件 |
| 第2号議案 | J Aバンク基本方針の変更の件 |
| 第3号議案 | 第9次中期3カ年計画設定の件 |
| 第4号議案 | 第26年度 事業計画設定の件 |
| 第5号議案 | 一般社団法人J Aバンク・J Fマリンバンク相談所退社の件 |
| 第6号議案 | 一般社団法人ジェイエイバンク支援協会退会の件 |
| 第7号議案 | 第26年度における理事の報酬に関する件 |
| 第8号議案 | 第26年度における監事の報酬に関する件 |
| 第9号議案 | 役員任期満了につき改選の件 |
| 第10号議案 | 理事の退職慰労金贈呈の件 |
| | 監事の退職慰労金贈呈の件 |

来賓祝辞

夏野元志射水市長、奈田安弘射水市
議会議長、永森直人富山県議会副議長
より来賓祝辞を受け、来賓の八嶋浩久
富山県議会議員、瀧田孝吉富山県議
會議員、加治宏規射水市産業建設常任
委員長、池田善揮射水市商工会副会長
を紹介して議事に入った。



▲三川 俊彦議長 ▲永森 直人県議会副議長 ▲奈田 安弘市議会議長 ▲夏野 元志射水市長

議長選出・議事

土合副組合長が議長の選任を諮り、
三島野地区の総代、三川俊彦氏を選出
したのち、議長の進行により、第25年
度の事業報告・剰余金処分案や第9次
中期3カ年計画設定の件、第26年度の
事業計画設定の件、役員全員任期満了
につき改選の件等、当局説明の10議案
を慎重審議の上承認した。

おわりに、議長三川氏が退任にあた
り、円滑な議事進行への感謝を述べる
とともに、米価の上昇は私たちにとっ
て喜びでもあるが消費者への責任も伴
う。この機会を生かし更なる生産性・
品質の向上に向けた取り組みが必要で
あるとし、JA役職員においては射水
市の農業を守り組合員の負託に応える
ため、一体となって取り組まれること
を願い、議事を終了した。

役員任期満了につき改選の件

役員全員任期満了につき新たに理事
24名、監事7名を選任するため役員選
任投票が行われ、賛成票が出席者の
277票と書面議決の124票と合わせ
て401票となり、定款に定める2分の
1以上に達したことにより理事24名、
監事7名の就任が承認された。

総代会終了後に開催された組織役員
会では、小杉地区の塚本清氏が代表理
事組合長、作道地区の川東茂幸氏が非
常勤の副組合長に就任、常務理事には
浅井地区の夏野邦昭氏と本江地区の野
尻知成氏の2名が就任、新設の理事事
業本部長に片口地区の寺井直人氏が就
任することが決定した。また同時に開
催された監事会で、非常勤の代表監事
に全区の長谷川清彦氏、常勤監事には
櫛田地区の山本康雄氏が就任すること
を決定した。

退任される役員の方々

長い間お疲れ様でした

副組合長理事	土合 正夫
副組合長理事	臍嶋 茂夫
常務理事	廣田 一也
理事	川野 修
理事	稲垣 潔
理事	堀 清範
理事	鈴木 正道
代理	稲垣 美雪
代表	折橋 清弘
監事	森田 啓介
監事	山屋 武明
監事	駒井 秀樹
監事	矢野 昌彦

令和7年度 新役員名簿

役職	氏名
代表理事組合長	塚本 清
副組合長理事	川東 茂幸
常務理事	夏野 邦昭
常務理事	野尻 知成
理事事業本部長	寺井 直人
理事	山中 美憲
理事	堀 俊之
理事	宮原 謙次
理事	北角 武史
理事	島中 正志
理事	小塚 守
理事	森山 秀信
理事	島 孝之
理事	梅川 龍男
理事	北林 勝実
理事	松本 剛明
理事	片岡 美孝
理事	小林 光利
理事	寺島 尚登
理事	林 彰
理事	島倉 和彦
理事	密 明
理事	森永 玲子
理事	外田佳志江
代表監事	長谷川清彦
常勤監事	山本 康雄
監事	小見 豊彦
監事	堀 浩一
監事	橋本 昌樹
監事	松長 幸成
監事	廣田 豊昭

第25年度 業務のご報告

(1) 当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容と成果

令和6年度は管内にも大きな被害をもたらした能登半島地震による被害からの復興が進むなか、農業面におきましては常態化した猛暑に見舞われ厳しい環境となりましたが、管内の水稻うるち玄米の1等米比率が95.7%と県下でもトップクラスの品質となりました。また令和6年産米の概算金につきましては令和の米騒動と呼ばれる状況のなか、60kgあたり2万円を超えて近年に無い高水準となりました。

大豆や大麦も同様に猛暑等の影響を受けて収量は低い水準となりましたが、特産の『富山ブラック枝豆』につきましては、県内外での販売強化によりブランド力が高まっており、人気商品として販売価格が上昇しております。

利用施設におきましては、農林水産省の定める産地生産基盤パワーアップ事業として再編いたしました小杉大豆・麦乾燥調製施設が5月に竣工し、貯留ビンを併設したことにより大幅に処理能力を増強しております。今後は高温耐性品種への作付け転換を視野に入れ、さらなる活用を目指して地域に農業に貢献できるよう努めてまいります。

経営面におきましては特に信用・共済事業の事業環境が厳しく、損益につきましては大変厳しい結果となりました。なお、金融機関の財務の健全性を示す自己資本比率につきましては、17.13%（前年16.98%）となり、当JAの財務状況は健全であることを示しています。

主な事業活動と成果については以下のとおりです。

(2) 組合員の数及びその増減

(単位：人)

資 格 区 分			前 期 末	当期増加	当期減少	当 期 末
正組合員	個 人		4,954	118	211	4,861
	法 人	農 事 組 合 法 人	57	－	－	57
		そ の 他 の 法 人	4	1	－	5
	計		5,015	119	211	4,923
准組合員	個 人		7,394	133	252	7,275
	そ の 他 の 団 体		107	－	－	107
	計		7,501	133	252	7,382
合 計			12,516	252	463	12,305

(3) 出資口数及びその増減

(単位：口)

資 格 区 分			前 期 末	当期増加	当期減少	当 期 末
正組合員	個 人		1,187,753	40,629	51,809	1,176,573
	法 人	農 事 組 合 法 人	4,617	－	－	4,617
		そ の 他 の 法 人	130	10	－	140
	計		1,192,500	40,639	51,809	1,181,330
准組合員	個 人		469,351	16,976	27,490	458,837
	そ の 他 の 団 体		4,124	－	－	4,124
	計		473,475	16,976	27,490	462,961
処 分 未 済 持 分			31,945	25,973	18,775	39,143
合 計			1,697,920	83,588	98,074	1,683,434
摘要：(1) 出資一口金額 1,000 円						
(2) 当期末払込済出資総額 1,683,434,000 円						

(4) 職員の状況

(単位：人)

区 分	前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末
一 般 職 員	138	5	10	133
営 農 指 導 員	14	1	2	13
生 活 指 導 員	1	－	－	1
工 場 関 係 職 員	14	1	1	14
小 計	167	7	13	161
常 備 人	51	7	9	49
パ ー ト	15	1	1	15
小 計	66	8	10	64
合 計	233	15	23	225

(5) 財務・事業成績の推移

(単位：千円) ※千円未満切り捨て

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
財 務	事 業 利 益	205,689	103,807	163,458	42,112
	経 常 利 益	327,595	239,900	292,240	79,000
	当 期 剰 余 金	231,753	211,507	237,946	48,817
	総 資 産	156,094,781	150,794,849	149,264,226	146,319,316
	純 資 産	9,538,800	9,324,194	9,199,553	8,618,637
信 用	貯 金	144,621,235	139,390,358	138,147,720	135,913,357
	預 金	105,484,253	97,598,057	96,238,037	92,074,840
	貸 出 金	28,923,217	29,160,600	29,042,425	27,204,762
	有 価 証 券	6,985,678	9,237,277	9,463,421	10,789,111
	国 債	6,485,707	8,737,303	8,063,443	8,439,248
	そ の 他	499,970	499,974	1,399,978	2,349,862
共 済	長期共済保有高	264,940,523	255,071,880	245,479,268	239,584,004
	短期共済新契約掛金	491,374	489,281	486,544	503,943
購 買	購 買 品 供 給 高	3,019,667	2,911,404	2,949,349	2,977,961
販 売	販 売 品 取 扱 高	2,298,932	2,339,975	2,754,801	3,149,123
保 管	保 管 事 業 収 益	42,229	41,283	42,019	42,518
加工・利用	加工・利用事業収益	507,496	474,506	443,256	428,436
そ の 他	その他事業収益	5,135	6,632	10,574	10,473
指 導	収 支 差 額	△ 27,993	△ 25,987	△ 36,813	△ 34,212

(注) 購買品供給高は総額で記載しており、損益計算書における金額とは一致しません。

(6) 貸 借 対 照 表

令和7年2月28日現在

資 産 の 部

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	131,384,781
(1) 現金	657,062
(2) 預金	92,074,840
系統預金	92,074,732
系統外預金	108
(3) 有価証券	10,789,111
国債	8,439,248
地方債	2,349,862
(4) 貸出金	27,204,762
(5) その他の信用事業資産	664,744
未収収益	608,840
その他の資産	55,904
(6) 貸倒引当金	△ 5,740
2. 共済事業資産	2,099
3. 経済事業資産	1,441,200
(1) 受取手形	2,200
(2) 経済事業未収金	195,412
(3) 経済受託債権	717,259
(4) 棚卸資産	514,826
購買品	514,689
販売品	137
(5) その他の経済事業資産	11,682
(6) 貸倒引当金	△ 179
4. 雑資産	202,609
5. 固定資産	3,690,099
(1) 有形固定資産	3,674,623
建物	5,027,928
機械装置	2,733,666
土地	1,411,019
その他の有形固定資産	1,171,342
減価償却累計額	△ 6,669,333
(2) 無形固定資産	15,476
6. 外部出資	9,465,092
(1) 外部出資	9,465,092
系統出資	9,326,168
系統外出資	138,924
7. 繰延税金資産	133,433
資産の部合計	146,319,316

負債及び純資産の部

(単位：千円 ※千円未満切り捨て)

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	136,515,346
(1) 貯金	135,913,357
(2) その他の信用事業負債	601,988
未払費用	56,252
その他の負債	545,736
2. 共済事業負債	397,955
(1) 共済資金	205,128
(2) 未経過共済付加収入	192,038
(3) その他の共済事業負債	788
3. 経済事業負債	135,327
(1) 経済事業未払金	129,585
(2) 経済受託債務	5,739
(3) その他の経済事業負債	2
4. 雑負債	153,746
(1) 未払法人税等	20,316
(2) その他の負債	133,430
5. 諸引当金	498,302
(1) 賞与引当金	51,813
(2) 退職給付引当金	417,280
(3) 役員退職慰労引当金	29,209
負債の部合計	137,700,678
(純資産の部)	
1. 組合員資本	9,962,551
(1) 出資金	1,683,434
(2) 資本準備金	40,499
(3) 利益剰余金	8,277,761
利益準備金	2,324,350
その他利益剰余金	5,953,411
リスク管理積立金	2,671,638
情報システム機能強化等積立金	300,000
税効果調整積立金	132,854
特別積立金	2,699,796
当期未処分剰余金	149,122
(うち当期剰余金)	(48,817)
(4) 処分未済持分	△ 39,143
2. 評価・換算差額等	△ 1,343,913
(1) その他有価証券評価差額金	△ 1,343,913
純資産の部合計	8,618,637
負債及び純資産の部合計	146,319,316

(7) 損 益 計 算 書

〔 令和6年3月1日から
令和7年2月28日まで 〕

(単位：千円 ※千円未満切り捨て)

科 目	金 額	額
1. 事業総利益		2,159,015
事業収益		4,939,783
事業費用		2,780,767
信用事業収益	937,248	
信用事業費用	180,337	
信用事業総利益		756,910
共済事業収益	453,997	
共済事業費用	9,827	
共済事業総利益		444,169
購買事業収益	2,844,537	
購買事業費用	2,306,104	
購買事業総利益		538,432
販売事業収益	330,976	
販売事業費用	140,989	
販売事業総利益		189,987
保管事業収益	42,518	
保管事業費用	575	
保管事業総利益		41,943
加工・利用事業収益	428,436	
加工・利用事業費用	216,738	
利用事業総利益		211,698
その他事業収益	10,473	
その他事業費用	387	
その他事業総利益		10,086
指導事業収入	35,161	
指導事業支出	69,373	
指導事業収支差額		△ 34,212
2. 事業管理費		2,116,903
人件費	1,307,659	
業務費	198,681	
諸税負担金	51,413	
施設費	539,684	
その他事業管理費	19,464	
事業利益		42,112
3. 事業外収益		43,198
4. 事業外費用		6,311
経常利益		79,000
5. 特別利益		223,929
6. 特別損失		229,959
税引前当期利益		72,970
法人税、住民税及び事業税	24,731	
法人税等調整額	△ 579	
法人税等合計		24,152
当期剰余金		48,817
当期首繰越剰余金		100,304
当期末処分剰余金		149,122

(8) 剰 余 金 処 分 内 訳 (第 25 年度)

(単位：円)

1. 当 期 未 処 分 剰 余 金		149,122,288
2. 剰 余 金 処 分 額		46,964,197
(1) 利 益 準 備 金	10,000,000	
(2) 任 意 積 立 金	20,579,000	
(リ ス ク 管 理 積 立 金)	(20,000,000)	
(税 効 果 調 整 積 立 金)	(579,000)	
(3) 出 資 配 当 金	16,385,197	
3. 次 期 繰 越 剰 余 金		102,158,091

(注) 1. 出資配当は年1.0%の割合である。
ただし、年度内の増資及び新規加入については日割計算をする。
2. 次期繰越剰余金には営農指導、生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額 20,000,000 円が含まれている。

第 9 次中期 3 カ年計画策定にあたって

第 8 次中期 3 カ年計画では、当組合が掲げる経営理念のもと、目指す姿の実現に向けてこれまで取り組んできた自己改革の成果を踏まえ、『持続可能な食料・農業基盤の確立』、『持続可能な組織・事業基盤の確立』、『不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化』、『(食) (農) (地域) (J A) にかかる理解醸成に向けた取り組みの強化』の 4 つの柱を重点として取り組んできました。

今後とも J A いみず野が『食と農を基軸とした地域に根ざした J A』として、地域の農業と暮らしになくてはならない存在としての役割を発揮していくためには、地域と農業の実態や J A の経営環境の変化を踏まえ、創意工夫ある取り組みを展開していく必要があります。

こうしたことから、第 49 回 J A 富山県大会で決議された『食料・農業戦略 (食料・農業への貢献)』、『暮らし・地域活性化・組織基盤強化戦略 (組合員の暮らし・地域社会への貢献)』、『経営基盤強化戦略 (健全・強固な経営基盤の確立)』、『広報戦略 (協同組合の役割や価値に対する理解の醸成)』の 4 つの柱を重点として取り組みます。



第26年度 事業計画の基本方針

農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化・後継者不足や気候の変動など、多くの課題を抱えておりますが、持続可能な農業の実現を目指し、需要に応じた生産・販売と水田フル活用を基本に、農業生産の拡大と農業所得の向上に取り組めます。併せて農業におけるデジタル技術の活用による圃場情報の電子化や栽培管理支援システムの導入など、スマート農業のさらなる実践に取り組むとともに、もみ殻を原料とした土づくり肥料『シリカエールプラス』のさらなる普及により、循環型農業の支援にも取り組んでまいります。

令和7年度は、「第9次中期3ヵ年計画」と「第49回JA富山県大会」の決議実践のスタートの年であり、組合員の皆様との対話を通じ、将来の見通しを踏まえて策定した効率化戦略・成長戦略を着実に推し進め、持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

1. 食料・農業への貢献

- (1) 農業所得向上と農業生産拡大
- (2) 担い手経営体のニーズに対応した総合事業提案の強化
- (3) 実需者ニーズに応じた生産・販売
- (4) 消費者の信頼を築く安全・安心、環境に配慮した農業の実践

2. 組合員の暮らし・地域社会への貢献

- (1) 組合員との対話の継続・強化
- (2) 多様な組合員の参画促進および新しい仲間づくり
- (3) 健康管理・福祉事業を通じたセーフティネット機能の発揮
- (4) 生活インフラ機能の発揮

3. 健全・強固な経営基盤の確立

- (1) 実効性の高い経営戦略の策定・実践
- (2) 効率化戦略の検討・実践
- (3) 組合員・利用者本位の業務運営
- (4) ガバナンス・内部統制の強化および実効性向上
- (5) JA経営・協同組合運動を支える人づくり

4. 協同組合の役割や価値に対する理解の醸成

- (1) 多彩な媒体による広報活動
- (2) 組合員・JAグループの要望を反映した農業政策の確立・推進
- (3) 准組合員・地域住民への理解醸成

新役員紹介

5月24日の「第25回通常総代会」において、役員全員任期満了につき改選の件が承認されましたので、新役員をご紹介します。

代表理事組合長



小杉 清
塚本 清

副組合長理事



作道 茂幸
川東 茂幸

常務理事



浅井 邦昭
夏野 邦昭



本江 知成
野尻 知成

理事事業本部長



片口 直人
寺井 直人

代表監事



大島 清彦
長谷川 清彦

常勤監事



櫛田 康雄
山本 康雄

理事



七美 美憲
田中 美憲



下村 俊之
堀 俊之



大島 謙次
宮原 謙次



金山 武史
北角 武史



橋下条 正志
畠中 正志



櫛田 守
小塚 守



大江 秀信
森田 秀信



戸破 孝之
島 孝之



作道 龍男
梅川 龍男



大島 勝実
北林 勝実



太閤山・池多 剛明
松本 剛明



黒河 美孝
片岡 美孝



大門 光利
小林 光利



水戸田 尚登
寺島 尚登



塚原 彰
林 彰



海老江 和彦
島倉 和彦



二口 明
密 明



大江 玲子
森永 玲子



二口 佳志江
舛田 佳志江

監事



大江 豊彦
小見 豊彦



片口 浩一
堀 浩一



堀岡 昌樹
橋本 昌樹



金山 幸成
松長 幸成



浅井 豊昭
廣田 豊昭



「米一番」パックごはん寄贈



地域の絆を深め、未来を育む

地域貢献の一環として、射水市を通じ市内のこども食堂に射水市産コシヒカリ（米一番）を使用したパックごはん1,008パックを寄贈しました。

6月2日（月）、射水市役所で贈呈式が行われ、塚本代表理事組合長が、夏野市長に米一番パックごはんを手渡し「この活動を通じ、多くの方々に美味しいごはんを召し上がっていただくことで、地域の絆を深め子供たちの健康な成長を支えていきたい。」と今回の寄贈に込めた思いを伝えました。夏野市長は、「米価や物価が高騰する状況下で非常にありがたい。」と感謝の意を示されました。

現在、手軽で便利なパックごはんの需要は高まっており、「米一番」の美味しさをより多くの消費者の皆様を知っていただくために、本商品を販売する運びとなりました。射水市産コシヒカリ100%使用の「米一番」パックごはんは、冷めても柔らかく、もちりとした食感と豊かな甘みが特徴です。

さらに、今後は射水市ふるさと納税の返礼品としても提供予定です。この取り組みを通じて地元農産品の魅力を発信し、地域の活性化に貢献していければと思います。

一般販売も行っておりますので、お近くの販売店でお求めください。



販売場所

- 各支店
- 農産物直売所「菜っちゃん」太閤山店
- 農産物直売所「菜っちゃん」新湊店
- 道の駅新湊

価格

- 1パック……………178円（税込）
- 10個入り『贈答用』……1,826円（税込・箱代込）
- 1ケース（36個入り）……6,156円（税込）

JAいみず野

2025

サマーキャンペーン

取扱期間

令和7年

6月9日（月）▶8月29日（金）

定期貯金

もしくは

（期間1年以上）

定期積金

（期間2年以上）

を新規契約の方に

◀100万円につき

1等米100%使用のパックご飯
射水市産コシヒカリ

米一番 1個プレゼント！

※数に限りがあります。

定期貯金3年以上の契約は

（100万円以上）

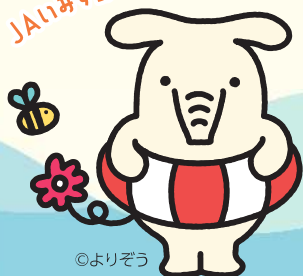
店頭
金利

+0.15%

上乘せ！

※対象は新規のみ（書換や増額は対象としません）

今年の夏は
JAいみず野がアツいぞう！



©よりぞう

新規預け入れの方限定！

対象となる
お客様

個人の方

対象商品

●スーパー定期貯金

●定期積金

お預入れ金額（期間1年以上）

100万円以上1,000万円未満

契約給付金額（期間2年以上）

100万円以上

（自動継続でお預け入れの場合、継続後の利率は店頭表示金利となります。）

※中途解約される場合は、当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。（手数料なし）

※お利息は20.315%（国税15.315%、地方税5%）の分離課税となります。※令和19年12月31日まで復興特別所得税が附加されています。

※金利情勢等により予告なく本定期貯金のお取扱いを中止させていただく場合があります。

お問い合わせはJAいみず野各支店の窓口まで

役員会だより

第1回定例理事会

日時…令和7年5月24日(土) 総代会終了後
場所…射水市小杉文化ホールラポール 研修室1

◆協議事項◆

第一号議案

組織体制について

(1) 役付理事及び理事順位、代表権決定等について

(2) 理事委員会について

(3) 役付監事について(監事会報告)

第二号議案

理事・監事報酬の配分について

第三号議案

職務権限表の一部変更について

第四号議案

大口貸出金の申込について

以上について協議し、全議案が承認されました。

◆報告事項◆

一、4月末実績について

二、JA財務モニタリングの農林中央金庫への報告について

三、令和7年度第2四半期における余裕金運用計画について

以上について、報告されました。

第1回監事会

日時…令和7年5月24日(土) 総代会終了後
場所…射水市小杉文化ホールラポール 研修室2

◆協議事項◆

第一号議案

代表監事・常勤監事・員外監事の選任について

第二号議案

監事の順位について

第三号議案

監事の報酬について

以上について審議し、全議案が承認されました。

協同の力 JAいみず野概況

(令和7年5月末日)

正組合員数	4,938 人
	(△ 73 人)
准組合員数	7,402 人
	(△ 118 人)
みなさまの貯金高	1,324 億 75 百万円
	(△ 71 億 8 百万円)
みなさまへの貸出金	287 億 76 百万円
	(60 百万円)
長期共済保有高	2,379 億 44 百万円
	(△ 60 億 32 百万円)
購買品供給高	12 億 42 百万円
	(1 億 55 百万円)
販売品販売高	1 億 79 百万円
	(△ 12 百万円)

*() 内の数字は前年同期比

チャレンジ 農業体験 2025

第1回 田植えにチャレンジ!

農業を体験することで、普段自分達の口に入っている物が、どのような環境の中でどう育つのかなど、手作業を通じて知って感じてほしいと、JAいみず野青年部、女性部、射水市農業再生協議会が主催し【チャレンジ農業体験2025】が開催されました。

第1回は5月25日(日)、青年部片口支部長の圃場をお借りして、子供たちに田植えを体験してもらいました。ぬかるんだ田んぼでは、足をとられ「わあ〜っ」と声をあげながら、踏ん張ってバランスを取る姿に、お互いに笑いあったり、ころがしの作業では、つけた後が消えないよう慎重な面持ちで手植えしたり、皆さん楽しそうな様子でした。恐る恐る始めた苗の手植えは見る間に上達しました。

その後、自動運転の田植え機が登場し、現代版「田植え」を見学しました。手植えをした事で文明の進化も感じたのではないのでしょうか。

さらに、枝豆の種も夏の収穫を楽しみに撒き、終了後は、女性部の美味しい手作り弁当と米一番のパックご飯のお土産をもらい、どの子も充実感のある表情をしていました。第3回には実った稲の収穫体験を行います。

農業をしたくても、できる場所がない家庭も多い中、この【チャレンジ農業体験】を通して、肌で土や水にふれ農業に親しみを持ってくれたらと、願っています。



家庭菜園青空 教室に参加して

田んぼの麦がいつの間にか色づいていた。菜園に着くと一番に、ネットの中で赤くたわわに実る苺とつばに肥大した玉ねぎが私の目を引いた。丹精にされているのが一目瞭然だ。

J Aの営農指導員から夏野菜の栽培ポイントを教わった。

①トマトは連作を避け、花房を通路側に同じ向きで定植する

②なすは、畝の濁きと追肥に注意する。畝間に水を流すとよい

③きゅうりは、下から5〜6節までの側枝と雌花は早めに除去し、子づるは葉2枚で摘芯する。

④とうもろこしは、株元から出る脇芽と複数付く雌穂は取り除く必要はない

⑤スイカは、子づるの3〜4番花に人工授粉し、1株に大玉なら2果、小玉なら3果収穫する、などなど。

昨今、周辺にも畑じまいの空き



地を目にする。高齢化は否めない。一方、ネットでは、市民農園や家庭菜園の動画で賑わっている。成功例もあれば失敗例もある。面白い。私は高齢ではあるが、今、好きだった花よりも野菜作りにハマっている。今年初めて、ロメインレタスとぶだん草の種をまき、収穫を迎えた。生姜のプランター栽培にも挑戦中だ。定番の夏野菜も生育中。決して人様に見せられるような畑ではないが、自分流の無農薬&低コスト&ずぼら栽培を実践している。収穫の喜びを糧にこれからも頑張ろうと思っている。体力の続く限り…。

(南郷支部)



チャレンジ農業 体験2025

前日からの雨で空模様が気になる5月25日、片岡地区の田んぼでチャレンジ農業体験2025を開催したところ、元気づけの11名の児童の参加がありました。

まずは高木青年部長より、参加してくれた子供たちのうち2人でも農業に興味を持ってくれたらうれしい、という開会の挨拶の後、高岡農林振興センターの丸岡さんから

お米がどのように成長するのかの説明を聞きました。半数ほどの児童は田植えの経験があるようで、とても頼もしく感じました。

いよいよ田んぼへ移動。青年部の協力できれいにならされた田んぼにころがして印をつけ、いざ裸足で田んぼへ。やわらかい土に足を取られながらも、女性部のアドバイスもあり一本丁寧に植えていきます。でも手で植えるとなかなか進みません。そこで最新式の田植え機の登場です。機械で植える」とあつという間に田んぼが緑色に変わっていきます。



美味しいお米を作るには田起し、代掻き、苗作り、田植えの後、水管理、肥料やり、草取りなど収穫まではたくさんの手間のかかる作業が必要になる事を学んだ一日になりました。

田植えの後に富山ブラック枝豆の播種も経験しました。どちらも収穫が楽しみです。

今日のお土産は、女性部が愛情をこめて作ったちらし寿司と枝豆コロッケなどが入ったお弁当と、6月から新発売のレンジで温めるだけでおいしい米番のパックご飯です。



犀藤女性部長の、手間暇かけて作っているお米を粒残らず美味しく食べてください、とのあいさつで一回目のチャレンジ農業体験は終了しました。

大変寒い日でしたが子供たちは

今後の日程

- 7月1日(火) 助け合い組織定例会
- 2日(水) ほっとサロン(大門本江)
- 7日(月) 健康教室
- 10日(木) ほっとサロン(水戸田)
- 15日(火) 16日(水) 東海北陸大会応援と伊勢神宮参拝の旅
- 24日(木) 料理教室
- 31日(金) ほっとサロン(海老江町)



元気いっぱい、楽しかった、またやりたい、などの声を聴かせてくれて、子供たちから元気とパワーをもらった一日になりました。

(二口支部)

小型農機から大型農機まで一堂に展示



ようこそ！
農機とテクノロジーのかがやく未来へ

第42回農業機械総合大展示会

農機フェア

in テコホール

7.12(土)-13(日)

9:30~16:00

(7/13は15:00まで)

コスト低減のご提案

★共同購入コンバイン(4条刈50馬力クラス)
★メンテナンス付きコンバインリース ★農機レンタル



お子様向け
プロウミニアトラクション



フード・物販コーナー

富山県JAグループ/JA全農とやま